令和4年度 年度評価結果表

施設の概要等	施設名称	鉄道スクエア
	施設所管課	文化観光課
	施設概要	本施設は、かつて長浜が交通の要衝都市として発展した歴史や文化を後世に伝えるとともに、旧長浜駅舎家屋（滋賀県指定文化財）や収蔵品などを活用し、都市観光資源として観光客の誘客を図ることを目的とする。 ①旧長浜駅舎：明治15年建築、延床面積：439.20㎡、構造：無筋ｺﾝｸﾘｰﾄ造2階建、桟瓦葺 ②長浜鉄道文化館：平成12年建築、建築面積：372.64㎡、構造：木造2階建合金メッキ鋼板葺
	指定管理者名	公益社団法人長浜観光協会
	指定期間	令和5年4月1日から令和10年3月31日まで

事業成果（令和4年度）

管理実施状況	管理運営業務	① 長浜市歴史文化を紹介する観光施設条例第3条各号に掲げる事業の実施に関する業務 一 実物、標本、模写、模型、図表、写真等の展示及び供用 二 歴史文化に関する展示及び保存資料についての説明、助言及び指導 三 資料の保管、展示に関する技術的研究 四 資料に関する説明書、目録、図録等の作成及び頒布 五 観光施設の目的に係る特別展等の開催 六 建物及びその附帯施設の公開 七 その他観光施設の設置目的を達成するために必要な事業 ② 管理施設（附帯設備を含む。）の維持管理に関する業務 ③ 管理施設の使用許可に関する業務 ④ 管理施設の使用に係る利用料金の徴収に関する業務 ⑤ その他市長が必要と認める業務
	自主事業の実施状況	・鉄道写真家”清水薫”追悼写真展（4/8～6/30） ・みんなの新幹線2022（7/16～10/10） ・子どもはぐくむ日本の汽車（10/15～12/28） ・第2回長浜鉄道スクエア鉄道写真コンテスト作品展（1/8～3/31）

利用状況	令和4年度実績	令和3年度実績	特記事項（増減理由等）
利用状況	入館者：48,588人	入館者：34,213人	新型コロナウイルス感染症の行動規制が緩和したことで、前年度を大きく上回る結果となった。コロナ禍前の令和元年度実績52,900人と比較すると回復率は92%にとどまっているが、長浜市の観光施設の平均値が72%であることから順調な回復具合といえる。

利用者アンケートの結果		評価区分	
実施概要	常時設置の電子と紙の両媒体によるアンケートを実施	最多項目	満足度 評価
		○	非常に満足度が高い
結果	家族連れの客層が約70%を占める。満足度に関しては、90%以上が満足している結果となった。		満足度が高い
			普通
利用者の声をふまえ、反映した事項	特になし		満足度は低い

収支状況	施設における収支	令和4年度実績	令和3年度実績	特記事項（増減理由等）
	収入（千円）	13,293	11,358	入館者数の増加に伴い、入館料が前年度比149%・予算比116%の増収となったが、支出金額も増加しているため収支の赤字幅が悪化した。
	（指定管理料）	2,201	4,747	
	（利用料金収入）	9,909	6,611	
	支出（千円）	16,665	13,450	

その他特記事項	特になし

年度評価

評価項目	主な評価の視点	配点	評価点
①設置目的の達成の取組	施設の設置目的の達成、利用者サービスの向上	40	29
②効率性の向上等の取組	経費の節減等、収入（利用者）の増加	25	19
③適正な管理運営の取組	経理状況、管理運営費の実施状況、公共性・安全性等の確保	35	25
合計		100	73

年度評価及びコメント	年度評価	
	B	長浜駅開業140周年や鉄道開業150周年を契機に、企画展示やイベントの実施、SNSによる周知広報活動に取り組んでいただいており、入館者の増加や利用者満足度の向上を図っていただいている。 新型コロナウイルス感染症の行動規制が緩和したことにより長浜市全域で観光入込客数の回復傾向が見られるなかで、鉄道スクエアはその平均を上回っていることから、管理者による上記の利用促進事業には一定の効果があったと評価できる。 収支については赤字が常態化していることが指摘される。今後は入館者数や客単価を増加させ、安定した運営に努めていただきたい。